

2022年3月8日
シブサワ・アンド・カンパニー株式会社 代表取締役
渋澤 健

第四回「新しい資本主義実現会議」コメント

I 科学技術・イノベーションを支える財源として「未来世代国債」の発行の検討はどうか。

➡普通国債である建設、特例(赤字)、復興に加え、新種国債を導入して「人への投資」を可視化する

- 一般会計における文教及び科学振興費(5.4兆円)の倍増を検討はどうか。
- 科学技術イノベーションを促す未来人材の育成は初等・中等教育の段階からも必須。(教員の改新が必要か。)
- 意欲や能力があるが家庭的に困難な子どもには、無償全寮制の科学技術教育の機会提供はどうか。

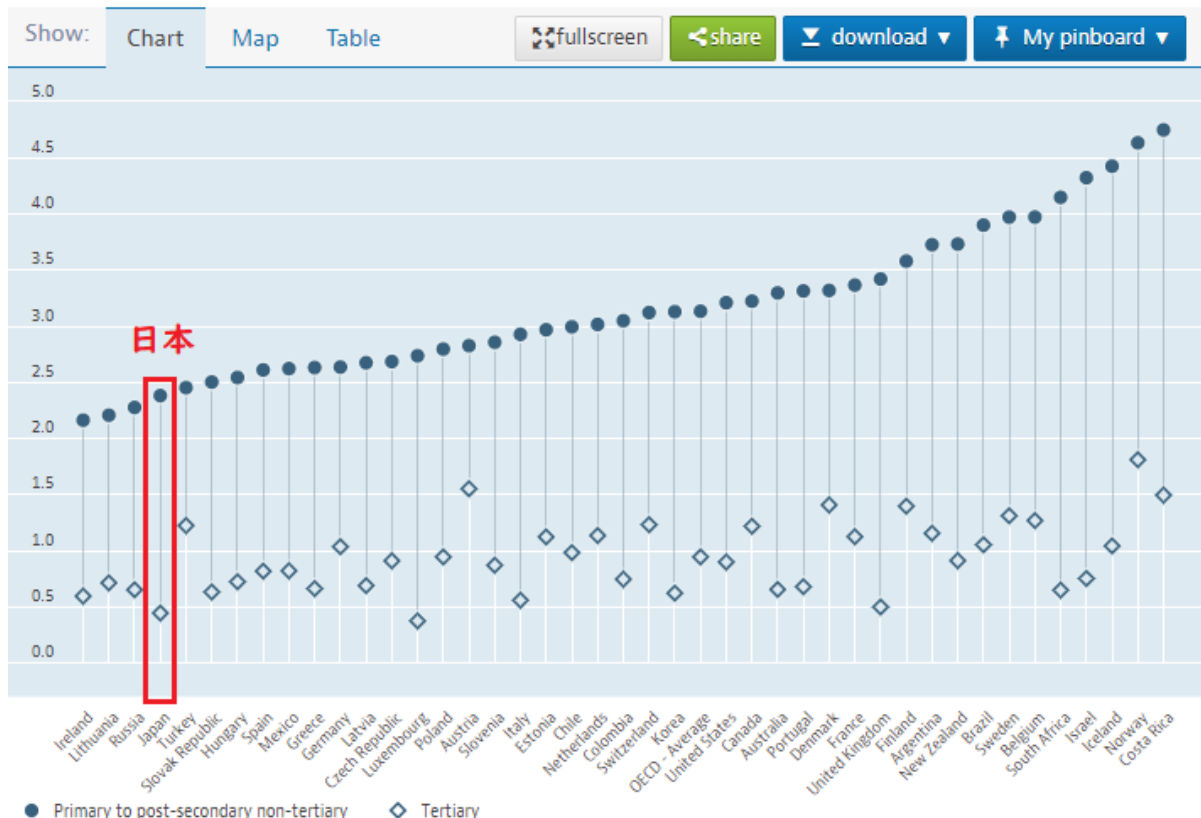
「新しい資本主義」は未来へ投資しているという意思表示と実績が不可欠。

【現状】初等・中等・専門等教育(primary to post-secondary), 高等教育(tertiary)における日本の公的支出は最下位。



Public spending on education Primary to post-secondary non-tertiary / Tertiary, % of GDP, 2019 or latest available

Source: Education at a glance: Educational finance indicators



第四回「新しい資本主義実現会議」コメント

II 量子技術を活用できる人材の育成

「今までの教育のあり方は、量子コンピューターを活用できる必要な人材を育成し、労働力を構築することに失敗している、という認識が必要。」

「世界を変えるために必要な労働力の供給ペースを、技術進歩が追い越してしまっている。」

Strangeworks CEO の W・ハーレー氏

<https://toyokeizai.net/articles/-/322630>

言い換えると、日本が今から人材育成に取り込めば、キャッチアップは可能

III バイオものづくり(合成生物学)革命とその課題【基礎資料 pg31】

⇒幅広い新製品の可能性が広まる一方、デジタル革命の教訓はテレビ、PC、そして自動車まで、完了製品が陳腐化すること。

☑ 日本は設計プラットフォームにおいても主導権を握る必要があるのではないか。

☑ この成長分野のルールメイクに参画するだけでなく、倫理も大事ではないか。

⇒身体に無害であることは大前提だが、有害物質が設計された場合のリスク管理。

☑ サイバー安全保障以上に、バイオ安全保障は国家を脅かすのではないか。

人類がパンドラの箱を開けたことで国民の命を守る施策・予算化が不可欠